

大学番号：私256

注3

[平成20年度設置]

計画の区分：学部/学科の設置

注1

届出

麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科 食品生命科学科 環境科学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 麻布獣医学園  
平成23年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 シムキョクシチョウ 事務局次長 ハニユウダトシ 羽生田登志  
ソウムブケイエイキカクカ 総務部経営企画課 シュサ 主査 タナカヒデカス 田中秀和

電話番号 042-754-7111（内線 480・343）

（夜間） 042-754-7111

F A X 042-754-7661

e-mail kikaku@azabu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	
	臨床検査技術学科	8
	食品生命科学科	11
	環境科学科	17
3	施設・設備の整備状況, 経費	26
4	既設大学等の状況	27
5	教員組織の状況	
	臨床検査技術学科	28
	食品生命科学科	37
	環境科学科	45
6	留意事項に対する履行状況等	56
7	その他全般的事項	57

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 麻布獣医学園

## (2) 大学名

麻布大学

## (3) 大学の位置

〒252-5201

神奈川県相模原市中央区淵野辺一丁目17番71号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(ムラタ モトヒデ) 村田 元秀 (平成18年6月1日)	(マサオカ トシオ) 政岡 俊夫 (平成21年6月1日)	・理事長の任期満了による。 ・平成21年6月1日 (21)
学長	(マサオカ トシオ) 政岡 俊夫 (平成18年6月25日)		
生命・環境科学部長	(ソノキ シゲノリ) 其木 茂則 (平成19年4月1日)	(フクヤマ マサフミ) 福山 正文 (平成20年4月1日)	・学部長の任期満了による。 ・平成20年4月1日 (20)
臨床検査技術学科長	_____	(ホンダ マサユキ) 本田 政幸 (平成20年4月1日)	・平成20年4月1日 (20)
食品生命科学科長	_____	<del>(ドウガサキ チカク)</del> <del>堂ヶ崎 知格</del> <del>(平成20年4月1日)</del>	<del>・平成20年4月1日 (20)</del>
		(ウチダ アキヒコ) 内田 明彦 (平成22年4月1日)	・学科長の任期満了による。 ・平成22年4月1日 (22)
環境科学科長	_____	(ヒラタ ツヨシ) 平田 強 (平成20年4月1日)	・平成20年4月1日 (20)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
 (例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)  
 平成23年度に報告する内容 → (23)  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。  
 ・ 様式は、平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生命・環境科学部 臨床検査技術学科 学士(保健衛生学)	4年	70人	2年次 5人 3年次 5人	305人	
食品生命科学科 学士(保健衛生学)	4	70	2年次 5人 3年次 5人	305	
環境科学科 学士(環境科学)	4	100	2年次 4人 3年次 4人	420	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

(臨床検査技術学科)

区分	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	70 (-) [ ]		70 (5) [ ]		70 ((5)(5)) [ ]		70 ((5)(5)) [ ]					
志願者数	414 (-)( ) [ ] [ ]		759 (3)( ) [ ] [ ]		569 (4)( ) [ ] [ ]		617 ((3)(1)) ( ) [ ] [ ]					
受験者数	404 (-)( ) [ ] [ ]		732 (3)( ) [ ] [ ]		552 (4)( ) [ ] [ ]		596 ((3)(1)) ( ) [ ] [ ]				1.27倍	編入学定員、2年次5人、3年次5人
合格者数	187 (-)( ) [ ] [ ]		180 (2)( ) [ ] [ ]		189 (1)( ) [ ] [ ]		175 ((1)(0)) ( ) [ ] [ ]					
B 入学者数	89 (-)( ) [ ] [ ]		90 (2)( ) [ ] [ ]		90 (1)( ) [ ] [ ]		90 ((1)(0)) ( ) [ ] [ ]					
入学定員超過率 B/A	1.27		1.28		1.28		1.28					

## (食品生命科学科)

区分	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	70 (-)	[ ]	70 (5)	[ ]	70 ((5)(5))	[ ]	70 ((5)(5))	[ ]	1.28倍	編入学定員、2 年次5人、3年 次5人
志願者数	313 (-)	( )	522 (3)	( )	493 (4)	( )	526 ((4)(0))	( )	[ ]	[ ]		
受験者数	304 (-)	( )	512 (2)	( )	483 (4)	( )	513 ((4)(0))	( )	[ ]	[ ]		
合格者数	276 (-)	( )	312 (1)	( )	215 (1)	( )	216 ((3)(0))	( )	[ ]	[ ]		
B 入学者数	84 (-)	( )	100 (1)	( )	88 (0)	( )	90 ((3)(0))	( )	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	1.20		1.42		1.25		1.28					

## (環境科学科)

区分	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	100 (-)	[ ]	100 (5)	[ ]	100 ((5)(5))	[ ]	100 ((5)(5))	[ ]	1.22倍	編入学定員、2 年次4人、3年 次4人
志願者数	530 (-)	( )	487 (0)	( )	390 (4)	( )	478 ((0)(4))	( )	[ ]	[ ]		
受験者数	515 (-)	( )	479 (0)	( )	379 (4)	( )	464 ((0)(4))	( )	[ ]	[ ]		
合格者数	295 (-)	( )	338 (0)	( )	268 (3)	( )	288 ((0)(4))	( )	[ ]	[ ]		
B 入学者数	107 (-)	( )	129 (0)	( )	127 (3)	( )	128 ((0)(4))	( )	[ ]	[ ]		
入学定員超過率 B/A	1.07		1.29		1.27		1.28					

- (注) ・ ( ) 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**
  - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
  - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

## (5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

(臨床検査技術学科)

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ - ]	[ ]	89		[ - ]	[ ]	96		[ - ]	[ ]	
2 年次	/				[ - ]	[ ]	87		[ - ]	[ ]	
						[ - ]	[ ]	96		[ - ]	[ ]
3 年次	/				/				[ - ]	[ ]	
								[ - ]	[ ]	68	
4 年次	/				/				[ - ]	[ ]	
								[ - ]	[ ]	61	
計	[ - ]	[ ]	89		[ - ]	[ ]	183		[ - ]	[ ]	
									[ - ]	[ ]	
									265		
									[ - ]	[ ]	
									344		

(食品生命科学科)

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ - ]	[ ]	85		[ - ]	[ ]	109		[ - ]	[ ]	
2 年次	/				[ - ]	[ ]	70		[ - ]	[ ]	
						[ - ]	[ ]	100		[ - ]	[ ]
3 年次	/				/				[ - ]	[ ]	
								[ - ]	[ ]	62	
4 年次	/				/				[ - ]	[ ]	
								[ - ]	[ ]	57	
計	[ - ]	[ ]	85		[ - ]	[ ]	179		[ - ]	[ ]	
									[ - ]	[ ]	
									259		
									[ - ]	[ ]	
									336		

(環境科学科)

学 年	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[ - ]	[ ]	107		[ - ]	[ ]	129		[ - ]	[ ]	
2 年次	/				[ - ]	[ ]	101		[ - ]	[ ]	
						[ - ]	[ ]	131		[ - ]	[ ]
3 年次	/				/				[ - ]	[ ]	
								[ - ]	[ ]	90	
4 年次	/				/				[ - ]	[ ]	
								[ - ]	[ ]	88	
計	[ - ]	[ ]	107		[ - ]	[ ]	230		[ - ]	[ ]	
									[ - ]	[ ]	
									348		
									[ - ]	[ ]	
									467		

(注) ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

(臨床検査技術学科)

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ ] 0人	(累積)計 [ ] 89人	0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 89人	
(主な退学理由)			
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ ] 9人	(累積)計 [ ] 185人	4.9%
	うち平成20年度入学者 8人	うち平成20年度 89人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 96人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 5人 ・学力不足(除籍) 2人 ・一身上の都合 2人			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ ] 11人	(累積)計 [ ] 277人	4.0%
	うち平成20年度入学者 3人	うち平成20年度 81人	
	うち平成21年度入学者 6人	うち平成21年度 95人	
	うち平成22年度入学者 2人	うち平成22年度 101人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 4人 ・一身上の都合 2人 ・経済的理由 2人 ・就職 1人 ・病気療養 1人 ・学納金未納(除籍) 1人			

(食品生命科学科)

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ ] 7人	(累積)計 [ ] 85人	8.2%
	うち平成20年度入学者 7人	うち平成20年度 85人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 6人 ・一身上の都合 1人			
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ ] 7人	(累積)計 [ ] 187人	3.7%
	うち平成20年度入学者 3人	うち平成20年度 78人	
	うち平成21年度入学者 4人	うち平成21年度 109人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 4人    ・学納金未納(除籍) 1人 ・一身上の都合 1人 ・病気療養 1人			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ ] 16人	(累積)計 [ ] 277人	5.8%
	うち平成20年度入学者 8人	うち平成20年度 75人	
	うち平成21年度入学者 5人	うち平成21年度 105人	
	うち平成22年度入学者 3人	うち平成22年度 97人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 8人    ・学納金未納(除籍) 1人 ・学力不足(除籍) 4人 ・一身上の都合 3人			

## (環境科学科)

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [ ] 6人	(累積)計 [ ] 107人	5.6%
	うち平成20年度入学者 6人	うち平成20年度 107人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 3人 ・一身上の都合 2人 ・経済的理由 1人			
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [ ] 11人	(累積)計 [ ] 230人	4.8%
	うち平成20年度入学者 4人	うち平成20年度 101人	
	うち平成21年度入学者 7人	うち平成21年度 129人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 9人 ・学納金未納(除籍) 2人			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [ ] 13人	(累積)計 [ ] 346人	3.8%
	うち平成20年度入学者 3人	うち平成20年度 97人	
	うち平成21年度入学者 6人	うち平成21年度 122人	
	うち平成22年度入学者 4人	うち平成22年度 127人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 9人 ・学納金未納(除籍) 1人 ・経済的理由 2人 ・就職 1人			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月未  
まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
  - ・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学
  - ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<生命・環境科学部 臨床検査技術学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	生命倫理学	1 後	2									教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)
	現代経済学	1 後		2								
	日本国憲法	1 後		2								
	労働基準法	1 前			1							
	応用数学	1 後	2									
	基礎統計学	1 後		2								
	基礎化学	1 前	2				1					
	基礎生物学	1 前	2						1			
	医療体育	1 通		2								
	基礎英語	1 前	2									
	英語講読I	1 後	2									
	基礎科学英語	1 後	2									
	ドイツ語 I	1 前		2								
	フランス語 I	1 前		2								
	医学英語	2 前	2			6			4			
	生涯体育	2 通		2		5	5	4		5		
小計(16科目)			16	14	1	6	5	4	0	0		
専門基礎科目	解剖学・同実習	1 前	2									兼担から専任に変更(20)
	組織学・同実習	1 後	2									
	生理学 I	1 前	2			1	1					
	生理学 II	1 後	2			1	1					
	微生物学総論	2 前										
		2 後	2			1						
	有機化学	1 後	2									
	分析化学	1 前	2						1			
	実験機器論・同実習	1 後	2			3			1			
		2 後	2			2	3	2				
	介護学	1 後	2									
	看護学概論	1 前	1									
	救急処置論	1 前	1									
	情報科学概論	1 前	2									
	コンピュータ実習	1 前	1									
	電子工学概論	1 後	2									
	EUC概論	1 後			2							
	生理学実習	2 前	1			1	1					
	生化学 I	2 前	2				1					
	生化学 II	2 後	2				1					
							2					
	生化学実習	2 後	1					1	1			
								1				
	病理学 I	2 前	2					1	1			
								1				
	病理学 II	2 後	2						1			
									1			
病理学実習	2 後	1						1	1			
								1				
微生物学実習	2 前	1			1	1			1			
免疫学 I	2 前	2			1	1						
免疫学 II	2 後	2			1	1						
免疫学実習	2 後	1			1			1				
薬理学	2 後	2										
衛生・公衆衛生学 I	2 前	2			1			1				
衛生・公衆衛生学 II	2 後	2			1			1				
衛生・公衆衛生学実習	2 後	1			1			1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	医用工学概論	2 前	2									
	労働生理学 I	4 前			2							
	労働生理学 II	4 前			1							
	健康食品学(健康食品管理士)	4 前			2							
	労働安全衛生法 I	4 前			2							
	労働安全衛生法 II	4 前			1							
	労働衛生 I	4 前			2							
	労働衛生 II	4 前			2							
小計(38科目)	—	51	0	14	5	4	4	0	0		昇格のため(20)	
専門科目	病理組織細胞学	2 後	2			1	4	1				昇格のため(21)
	医動物学・同実習	2 後	2									
	臨床検査総論 I	2 後	2			1		1				昇格のため(21)
	臨床化学 I	2 後	2					4				昇格のため(21)
	検査管理総論	2 前	1			4		2				昇格のため(21)
	総合臨床検査学I	2 後	1			3	2	3				昇格のため(21)
	RI検査技術学・同実習	2 前	1					4				
	臨床微生物学 I	2 後	2			1						
	臨床病理学 I	3 後	2									
	内科学概論I(呼吸・循環器・免疫)	3 前	2			1						
	内科学概論II(消化器・内分泌・神経)	3 後	2			1						
	臨床血液学 I	3 前	2			1						
	臨床血液学 II	3 後	2			1						
	臨床血液学実習	3 後	1			1	1					集中
	病理組織細胞学実習	3 前	1				4	1				昇格のため(20)
	遺伝子検査学	3 後	2									集中
	臨床検査総論 II	3 前	2			1		1				集中
	臨床検査総論実習	3 前	1			1		1				集中
	臨床化学 II	3 前	2				1	2				昇格のため(21)
	臨床化学実習	3 前	1				4	4				集中
	臨床微生物学 II	3 前	2			1	1					昇格のため(22)
	臨床微生物学実習	3 前	1			1	1		4			集中
	臨床免疫学	3 前	2			1						
	臨床免疫学実習	3 後	1			1		1				集中
	臨床生理学 I	3 前	2			1	1					
	臨床生理学 II(画像診断学)	3 後	2			1	1					集中
	臨床生理学実習	3 後	1			1	1					集中
	総合臨床検査学II	3 前	2			6	5	4				昇格のため(21)
	総合臨床検査学III	3 後	2			6	5	4				昇格のため(21)
	臨床実習(臨地実習)(※)	3 後		6		5	5	5				集中
	臨床病理学 II	4 前	2									
	小児科学概論	4 前	1									
	脳神経科学概論	4 前	1									
	産婦人科学概論	4 前	1									
精神医学概論	4 前	1				1						
遺伝子検査学実習	4 前	1									集中	
輸血・移植免疫検査学・同実習	4 前	1				1	1				昇格のため(21)	
総合臨床検査学IV	4 前	2			6	5	4				昇格のため(21)	
総合臨床検査学V	4 前	8			6	5	5				昇格のため(22)	
卒業論文	2~4 通		6		5	5	5	4			昇格のため(21)	
小計(40科目)	—	66	12	0	6	5	5	0	0			
合計(94科目)	—	133	26	15	6	5	5	0	0			

(※)臨床検査技師受検資格取得のためには、必修科目となる。

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。
- 修正してください。

## (2) 授業科目数

(臨床検査技術学科)

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 76	科目 9	科目 9	科目 94	科目 76 [ 0 ]	科目 9 [ 0 ]	科目 9 [ 0 ]	科目 94 [ 0 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

## (3) 未開講科目

(臨床検査技術学科)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

## (4) 廃止科目

(臨床検査技術学科)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

## (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(臨床検査技術学科)

該当なし
------

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## (6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(臨床検査技術学科)

未開講科目と廃止科目の計	0	=	
届出時の計画の授業科目数の計	0		0

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<生命・環境科学部 食品生命科学科 食の安全コース>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎・ 教養科目	基礎英語	1 前後	2									
	基礎科学英語	1 後	2									
	英語講読Ⅰ	1 後	2									
	基礎生物学・同実習	1 前	2			1		1				
	基礎化学	1 前	2				1					
	統計学	1 後	2									
	フード・バイオビジネス概論	1 前	2			1						
	プレ専門ゼミ	1 後	1			6	5	2				
	食環境論	1 前		2			1					
	生命のしくみ	1 前		2					1			
	ドイツ語Ⅰ	1 前		2								
	フランス語Ⅰ	1 後		2								
	応用数学	1 後		2								
	基礎物理学	1 前		2								
	人間関係論	1 後		2								
	病気と予防	1 後		2								
	食生活と健康科学	1 前		2		1						
医療体育	1 通		2									
日本国憲法	1 後		2									
応用体育	2 通		2									
小計(20科目)	—		15	24	0	6	5	2	0	0		内容の充実を図るため、 教員を追加(23) 担当 堂々崎 知格(教授) 鈴木 潤(教授) 遠藤 治(准教授)
専門基礎科目	コンピュータ概論・同実習	1 前	2									
	有機化学	1 前	2			1						
	分析化学・同実習	1 後	2			1	1					
	生理・解剖学	1 前	2									
	生理・解剖学実習	1 後	1									
	生化学Ⅰ	1 後	2			1						
	微生物学総論	1 後	2									
	基礎遺伝子生物学	1 後	2			1						
	基礎細胞生物学	1 前	2			1						
	生化学Ⅱ	2 前	2			1						
	生化学実習	2 前	1			1	1					
	公衆衛生学	2 前	2									
	病理学	2 前	2									
	免疫学	2 後	2									
	寄生虫学・同実習	2 前	2			1	1					
	実験動物学・同実習	2 後	2			1	1					
	環境衛生学	2 前	2									
	薬理学	2 後	2									
	微生物学実習	2 前	1									
	遺伝子工学	2 後	2			1						
	スポーツ生理学	3 前	2									
	病原細菌・ウイルス学・同実習	3 後	2									
	毒性学	3 前	2					1				
	毒性学実習	3 後	1					1				
	遺伝子工学実習	3 前	1			1	1					
小計(25科目)	—		45	0	0	4	4	0	0	0		集中 教育効果を考慮し、配当年次を変更(21) 集中 集中 集中

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	食品学	1 後	2				1					実習科目数を前後期で均等化するために配当学期を変更(21) 集中 実習科目数を前後期で均等化するために配当学期を変更(21) 集中  講義内容の専門性をより高めるため専任から兼任に変更(23)
	栄養学	1 後	2			1						
	食品学実習	2 後 2 前	1				1					
	栄養学実習	2 後 2 前	1			1						
	食品衛生学総論	2 後	2					1				
	食中毒化学	2 後	2			1						
	食中毒微生物学	2 後	2					1				
	人獣共通寄生虫学	2 後	2			1	1					
	新興再興感染症学	2 後	2			1	1					
	衛生関係法規	2 前		2								
	予防検査学	2 前	2									
	放射線衛生化学	2 後	2									
	産業動物衛生病理学(解剖・毒性を含む)	2 後	2									
	哺乳類遺伝学	2 前	2			1						
	公衆栄養学	2 前		2		1						
	臨床栄養学	3 前	2			1						
	食品衛生学実習	3 前	1			1		1				
	遺伝子検査学	3 後		2		1	1					
	遺伝子栄養学	3 後	2			1	1					
	分子栄養学	3 前	2			1	1					
	食品機能学	3 後	2			1						
	食品バイオテクノロジー	3 後	2						1			
	遺伝子組換え食品科学	3 後	2			1						
	論文講読ゼミ	3 前	1			6	5	2				
	健康食品学	4 前		2		1						
	食物アレルギー論	4 前		2								
	卒業論文	3~4 通	6			6	5	2				
小計(27科目)	—	38	16	0	6	5	2	0	0			
コース専門科目	酵素高分子化学	2 後		2			1					
	病態生化学	2 前		2		1						
	食物資源利用学	2 前		2			1					
	検疫論	2 前		2		1	1					
	食の科学英語	2 後	2			4	4	1				
	機器分析学・同実習	2 前	2									
	食品安全管理學	3 前	2					1				
	食品衛生分析学	3 前	2			1						
	食品加工・保蔵科学	3 前	2					1				
	化学物質毒性評価学	3 後		2				1				
	HACCP論	3 後	2						1			
	リスク評価・コミュニケーション論	3 後	2					1				
	食料流通・経済論	3 後	2									
	保健疫学	4 前		2								
小計(14科目)	—	16	12	0	4	4	1	0	0			
専門小計(41科目)	—	54	28	0	6	5	2	0	0			
合計(86科目)	—	114	52	0	6	5	2	0	0			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。
- 修正してください。

(2) 授業科目数

(食品生命科学科 食の安全コース)

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 60	科目 26	科目 0	科目 86	科目 60 [ 0 ]	科目 26 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 86 [ 0 ]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

(食品生命科学科 食の安全コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

(食品生命科学科 食の安全コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(注) ・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(食品生命科学科 食の安全コース)

該当なし
------

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(食品生命科学科 食の安全コース)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{0} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<生命・環境科学部 食品生命科学科 バイオの科学コース>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎・ 教養科目	基礎英語	1 前後	2									内容の充実を図るため、 教員を追加(23) 担当 堂々崎 知格(教授) 鈴木 潤(教授) 遠藤 治(准教授)
	基礎科学英語	1 後	2									
	英語講読Ⅰ	1 後	2									
	基礎生物学・同実習	1 前	2			1		1				
	基礎化学	1 前	2				1					
	統計学	1 後	2									
	フード・バイオビジネス概論	1 前	2			1						
	ブレ専門ゼミ	1 後	1			6	5	2				
	食環境論	1 前		2			1					
	生命のしくみ	1 前		2				1				
	ドイツ語Ⅰ	1 前		2								
	フランス語Ⅰ	1 後		2								
	応用数学	1 後		2								
	基礎物理学	1 前		2								
	人間関係論	1 後		2								
	病気と予防	1 後		2		2	1					
	食生活と健康科学	1 前		2		1						
	医療体育	1 通		2								
	日本国憲法	1 後		2								
	応用体育	2 通		2								
小計(20科目)	—		15	24	0	6	5	2	0	0		
専門基礎科目	コンピュータ概論・同実習	1 前	2								集中  教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)	
	有機化学	1 前	2			1						
	分析化学・同実習	1 後	2			1	1					
	生理・解剖学	1 前	2									
	生理・解剖学実習	1 後	1									
	生化学Ⅰ	1 後	2			1						
	微生物学総論	1 後	2									
	基礎遺伝子生物学	1 後	2			1						
	基礎細胞生物学	1 前	2			1						
	生化学Ⅱ	1 前	2			1						
	生化学実習	2 前	1			1	1					
	公衆衛生学	2 前	2									
	病理学	2 前	2									
	免疫学	2 後	2									
	寄生虫学・同実習	2 前	2			1	1					
	実験動物学・同実習	2 後	2			1	1					
	環境衛生学	2 前	2									
	薬理学	2 後	2									
	微生物学実習	2 前	1									
	遺伝子工学	2 後	2			1						
	スポーツ生理学	3 前	2									
	病原細菌・ウイルス学・同実習	3 後	2									
	毒性学	3 前	2					1				
	毒性学実習	3 後	1					1				
	遺伝子工学実習	3 前	1			1	1					
小計(25科目)	—		45	0	0	4	4	0	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	食品学	1 後	2				1					実習科目数を前後期で均等化するために配当学期を変更(21) 集中 実習科目数を前後期で均等化するために配当学期を変更(21) 集中  講義内容の専門性をより高めるため専任から兼任に変更(23)
	栄養学	1 後	2			1						
	食品学実習	2 後 2 前	1				1					
	栄養学実習	2 後 2 前	1			1						
	食品衛生学総論	2 後	2					1				
	食中毒化学	2 後	2			1						
	食中毒微生物学	2 後	2					1				
	人獣共通寄生虫学	2 後	2			1	1					
	新興再興感染症学	2 後	2			1	1					
	衛生関係法規	2 前		2								
	予防検査学	2 前	2									
	放射線衛生化学	2 後	2									
	産業動物衛生病理学(解剖・毒性を含む)	2 後	2									
	哺乳類遺伝学	2 前	2			1						
	公衆栄養学	2 前		2		1						
	臨床栄養学	3 前	2			1						
	食品衛生学実習	3 前	1			1		1				
	遺伝子検査学	3 後	2			1	1					
	遺伝子栄養学	3 後	2			1	1					
	分子栄養学	3 前	2			1	1					
	食品機能学	3 後		2		1						
	食品バイオテクノロジー	3 後	2						1			
	遺伝子組換え食品科学	3 後	2			1						
	論文講読ゼミ	3 前	1			6	5	2				
	健康食品学	4 前		2		1						
	食物アレルギー論	4 前		2								
	卒業論文	3~4 通	6			6	5	2				
小計(27科目)	—		38	16	0	6	5	2	0	0		
専門科目	遺伝子生物学	2 前	2			1						
	遺伝子生物学実習	2 後	1			1	1					
	細胞生物学	2 後	2			1						
	細胞生物学実習	2 前	1			1		1				
	タンパク質工学	3 後	2			1						
	糖鎖生物学	3 後		2		1	1					
	分子疫学	3 前		2								
	発生学・分子発生学	3 後	2					1				
	細胞・発生工学・同実習	3 前	2			1		1				
	ゲノム情報科学・同演習	3 後	2				1					
	生命の科学英語	3 後	2			2	1	1				
小計(11科目)	—		16	4	0	3	2	1	0	0		
専門小計(38科目)	—		54	20	0	6	5	2	0	0		
合計(83科目)	—		114	44	0	6	5	2	0	0		

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。
- 修正してください。

(2) 授業科目数

(食品生命科学科 バイオの科学コース)

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 61	科目 22	科目 0	科目 83	科目 61 [ 0 ]	科目 22 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 83 [ 0 ]	

(3) 未開講科目

(食品生命科学科 バイオの科学コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

(食品生命科学科 バイオの科学コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(食品生命科学科 バイオの科学コース)

該当なし
------

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(食品生命科学科 バイオの科学コース)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{0} = 0$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

＜生命・環境科学部 環境科学科 環境技術コース＞

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文社会系	経済学入門	1 前	2			1						
	暮らしの中の法律	1 前	2									
	環境と倫理	1 前		2					1			
	経済政策	1 後		2		1						
	社会学概論	1 後		2			1					
	心理学概論	1 前		2		1						
	人間関係論	1 後		2		1						
	日本国憲法	1 後		2					1			
	近代思想史	4 前		2								
小計(9科目)	—	4	14	0	2	1	1	0	0			
自然系	コンピュータ演習	1 前	1									
	コンピュータ概論	1 後		2								
	基礎化学	1 前		2		1						
	基礎生物学	1 前		2					1			
	数学	1 前		2						1		
	生物学	1 後		2						1		
	物理学	1 後		2								
	化学	2 前		2		1						
小計(8科目)	—	3	12	0	1	0	1	0	0			
外国語系	TOEICリーディングIA	1 前		1					1			
	TOEICリーディングIB	1 後		1					1			
	TOEICリスニングIA	1 前		1					1			
	TOEICリスニングIB	1 後		1					1			
	TOEICリスニングIIA	2 前		1					1			
	TOEICリスニングIIB	2 後		1					1			
	新聞英語	3 前			1				1			
	トラベルイングリッシュ	4 後			1				1			
	ドイツ語 I	4 前			2							
	ドイツ語 II	4 後			2							
	フランス語 I	4 前			2							
	フランス語 II	4 後			2							
	中国語 I	4 前			2							
	中国語 II	4 後			2							
小計(14科目)	—	6	14	0	0	0	2	0	0			
その他	基礎ゼミ	1 前				7	3	5				専任教員退職のため(23) 基礎ゼミを担当する1年目の教員配置は、教授8、准教授3、講師5となる。
	基礎体育	1 通		1			4					
	キャリア形成講座	2 前			2							
	応用体育	2 通			2							
小計(4科目)	—	0	7	0	7	3	5	0	0			
教養小計(35科目)	—	13	47	0	7	3	5	0	0			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目 基礎専門	環境汚染化学概論	1 後	2			1	1						
	環境科学概論	1 後	2			2							
	社会調査入門	1 後	2				1						
	水環境学	1 前	2			1							
	大気環境学	1 前	2										
	土壌環境学	1 前	2				1						
	統計学・同演習	1 前	2				1						
	廃棄物リサイクル論	1 後	2				1					専任教員退職のため兼任に変更(23)	
	分析化学実習	1 後	1			1	1					専任教員退職のため(23)	
	環境学習指導論・同実習	1 後	2		2				1			集中	
	生物学実習	1 後	1		1				1			集中	
	生物多様性論	1 前	2		2							集中	
	微生物学総論	2 後	2		2							教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)	
小計(13科目)	—	17	7	0	4	3	3	0	0				
専門科目 基礎専門	生化学	2 後	2										
	生理学	2 前	2										
	微生物学実習	2 前	1									集中	
	分析化学	2 前	2			1							
	有機化学	2 後	2										
	環境フードスタディ	2 後	1		1	4	2	4				集中	
	環境教育論	2 後	2		2	1		2					
	環境経済学	2 後	2		2	1							
	科学技術英語 ライティング	3 前	2		2	3	2	1				専任教員退職のため(23)	
	小計(10科目)	—	9	8	0	7	3	5	0	0			
	専門科目 応用科学	食品衛生学	2 前	2									
		水質衛生学	2 前	2			1						
		労働生理学	2 前	2									
環境植物学		2 前	2		2	1		1					
公衆衛生学		3 後	2										
食中毒化学		3 後	2										
毒性学		3 後	2										
放射線衛生化学		3 後	2					1				専任教員退職のため(23)	
労働衛生学		3 前	2										
環境英語		3 後	1		1			1					
人口・食糧論		3 前	2		2								
小計(11科目)		—	16	5	0	1	0	2	0	0			
専門科目 環境の分析・調査		衛生動物学・同実習	2 前	2									集中
	環境衛生学・同実習	2 後	2				1					集中	
	機器分析化学・同実習	2 前	2			1		1				集中	
	食中毒微生物学	2 後	2									集中	
	微生物検出法・同実習	2 後	2									集中	
	病原微生物学	2 後	2									教育効果を考慮し、配当学期を変更(21)	
	環境統計学	2 前	2		2	1							
	疫学	3 前	2		2								
	環境計量分析化学	3 前	2		2	2							
	環境計量分析化学実習	3 前	1		1	1	1	1				専任教員退職のため(23)	
	リスク分析学・同演習	3 前	2		2	1						集中	
	感染症学	3 前	2		2								
	小計(12科目)	—	17	6	0	3	1	1	0	0			
専門科目 環境の評価	動物実験学	2 前	2		2								
	化学物質毒性評価学	3 後	2			1	1						
	化学物質毒性評価学実習	3 後	1			1	1						
	農薬化学	3 後	2			1							
	労働安全衛生法	3 前	2										
	環境リスク評価論	3 後	2		2								
	環境影響評価論	3 前	2		2	1							
	遺伝子組換え食品科学	4 後	2		2								
	小計(8科目)	—	7	8	0	2	1	0	0	0			
	専門科目 環境の維持・改善	衛生管理学	2 後	2									
		水質汚染制御学	2 後	2			1						
		労働基準法	2 後	2									
		環境関連法I	2 後	2		2	1						
衛生行政概論		3 後	2		2	1							
化学物質管理学		3 後	2					1					
水処理工学・同実習		3 前	2		2	1	1					専任教員退職のため(23)	
HACCP論		3 後	2		2	1						集中	
遺伝子工学・同実習		3 前	2		2	1		1				集中	
環境関連法II		3 前	2		2	1							
環境修復技術論		3 前	2		2	1							
検疫論		3 後	2		2								
企業環境対策論		4 後	2		2			1					
小計(13科目)	—	12	14	0	3	1	1	0	0				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
展 開 ・ 実 践	リサーチローテーションA	2 後	1			3	1		1			専任教員退職のため(23) 集中 集中
	環境計量分析化学演習	3 後	1			1	1					
	公害防止管理化学演習	3 前	1			1						
	毒物劇物化学演習	3 前	1				1					
	インターンシップ	3 通		1								
	アドバンスTOEICリーディング	4 後		1								専任教員退職のため(23) 集中 集中
	アドバンスTOEICリスニング	4 前		1								
	ビジネスイングリッシュ	4 前		1					1			
	卒業論文	3~4 通		6			7	3	4	5		
	小計(7科目)	—		4	10	0	7	3	5	0	0	
専門小計(76科目)	—		82	58	0	7	3	5	0	0		
合計(111科目)	—		95	105	0	7	3	5	0	0		

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。
- 修正してください。

(2) 授業科目数

(環境科学科 環境技術コース)

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 55	科目 56	科目 0	科目 111	科目 55 [ 0 ]	科目 56 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 111 [ 0 ]	

(3) 未開講科目

(環境科学科 環境技術コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

(環境科学科 環境技術コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(環境科学科 環境技術コース)

該当なし
------

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(環境科学科 環境技術コース)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{0} = 0$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

## 2 授業科目の概要

<生命・環境科学部 環境科学科 環境と社会コース>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文社会系	経済学入門	1 前	2			1						
	暮らしの中の法律	1 前	2					1				
	環境と倫理	1 前		2								
	経済政策	1 後		2		1						
	社会学概論	1 後		2			1					
	心理学概論	1 前		2		1						
	人間関係論	1 後		2		1						
	日本国憲法	1 後		2					1			
	近代思想史	2 前		2								
小計(9科目)	—		4	14	0	2	1	1	0	0		
自然系	コンピュータ演習	1 前	1									
	コンピュータ概論	1 後		2								
	基礎化学	1 前		2		1						
	基礎生物学	1 前		2				1				
	数学	1 前		2								
	生物学	1 後		2					1			
	物理学	1 前		2								
	化学	2 前		2		1						
小計(8科目)	—		1	14	0	1	0	1	0	0		
教養科目 外国語系	TOEICリーディングIA	1 前	1					1				
	TOEICリーディングIB	1 後	1					1				
	TOEICリスニングIA	1 前	1					1				
	TOEICリスニングIB	1 後	1					1				
	TOEICリーディングIIA	2 前	1					1				
	TOEICリーディングIIB	2 後	1					1				
	TOEICリスニングIIA	2 前	1					1				
	TOEICリスニングIIB	2 後	1					1				
	TOEICリーディングIIIA	3 前	1					1				
	TOEICリーディングIIIB	3 後	1					1				
	TOEICリスニングIIIA	3 前	1					1				
	TOEICリスニングIIIB	3 後	1					1				
	TOEICリスニングIIIB	3 後	1					1				
	トラベルイングリッシュ	3 後		1					1			
	新聞英語	3 前		1					1			
	ドイツ語 I	2 前		2								
	ドイツ語 II	2 後		2								
	フランス語 I	2 前		2								
	フランス語 II	2 後		2								
	中国語 I	2 前		2								
中国語 II	2 後		2									
小計(20科目)	—		12	14	0	0	0	2	0	0		
その他	基礎ゼミ	1 前		1		7	3					専任教員退職のため(23) 基礎ゼミを担当する1年目の教員配置は、教授8、准教授3、講師5となる。
	基礎体育	1 通		2			4	5				
	キャリア形成講座	2 前		2								
	応用体育	2 通		2								
小計(4科目)	—		0	7	0	7	3	5	0	0		
教養小計(41科目)	—		17	49	0	7	3	5	0	0		
専門科目 基礎専門	環境汚染化学概論	1 後	2			1	1					
	環境科学概論	1 後	2			2						
	社会調査入門	1 後	2				1					
	水環境学	1 前	2			1						
	大気環境学	1 前	2									
	土壌環境学	1 前	2					1				
	統計学・同演習	1 前	2					+				
	廃棄物リサイクル論	1 後	2					1				
	分析化学実習	1 後	1			1	+	1				
	環境学習指導論・同実習	1 前		2					1			
	生物学実習	1 後		1					1			
	生物多様性論	1 前		2								
	微生物学総論	2 後		2								
小計(13科目)	—		17	7	0	4	3	3	0	0	専任教員退職のため兼任に変更(23) 集中 集中 集中 教育効果を考慮し、配当年次を変更(21)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門を学ぶための基礎科学	環境経済学	2 後	2			1					集中
	環境政策概論	2 前	2			1					
	民法I	2 前	2					1			
	環境フィールドスタディ	2 後		1		4	2	4			
	環境教育論	2 後		2		1		2			
	行政法I	2 後		2							
	地球環境科学	2 前		2		1					
	TVニュースイングリッシュ	3 後		1				1			
	ライティング	3 前		1				1			
	生理学	3 前		2							
小計(10科目)	—	6	11	0	4	2	4	0	0		
専門を学ぶための応用科学	環境生態学	2 前	2					1			
	環境植物学	2 前		2		1		1			
	人口・食糧論	2 前		2							
	民法II	2 後		2				1			
	公衆衛生学	3 後	2								
	環境英語	3 後		1				1			
	行政法II	3 前		2							
	生物資源環境論	3 前		2				1			
	労働生理学	3 前		2							
	労働衛生学	4 前		2							
小計(10科目)	—	4	15	0	1	0	4	0	0		
環境の分析・調査	環境社会学	2 前	2				1				
	環境統計学	2 前	2			1					
	社会調査法	2 後	2				1				
	疫学	3 前		2							
	環境心理学	3 前		2		1					
	社会調査実習I	3 後		1			1				
	地域環境調査法	3 前		2			1				
	社会調査実習II	4 前		1			1				
	小計(8科目)	—	6	8	0	2	1	0	0	0	
	環境の評価	環境科学演習	2 後		1		1	1	1		
環境影響評価論		3 前	2			1					
リスクコミュニケーション論		3 前		2							
環境リスク評価論		3 後		2							
環境経営論		3 後		2		1					
環境衛生学		4 前		2		1	1				
労働安全衛生法		4 前		2							
小計(7科目)	—	2	11	0	3	2	1	0	0		
環境の維持・改善	まちづくり論	2 前	2					1			
	環境関連法I	2 後	2			1					
	市民環境活動論	2 後	2					1			
	ビオトープ論	2 後		2							
	自然災害科学	2 前		2							
	住環境福祉論	2 後		2							
	地域環境論	2 後		2							
	都市計画論	2 後		2							
	エネルギー環境論	3 前	2			1					
	地方自治論	3 前	2								
	衛生管理学	3 後		2							
	環境管理論	3 前		2							
	環境関連法II	3 前		2		1					
	環境政治	3 前		2							
	企業環境対策論	3 後		2			1				
	国際環境政策論	3 後		2		1					
	自然保護概論	3 後		2							
	動物環境政策論	3 後		2			1				
	労働基準法	3 後		2							
	環境景観論	4 前		2							
小計(20科目)	—	10	30	0	2	1	1	0	0		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目 展開・実践	リサーチローテーションB	2 後	1			4	2	4			集中  集中
	環境政策特別講義	2 前	2			1					
	環境政策演習	3 前	1			3	1	1			
	アドバンストTOEICリーディング	3 後		1							
	アドバンストTOEICリスニング	3 前		1							
	インターンシップ	3 通		1			1				
	スピーチメイキング	3 前		1				1			
	ディベート	3 後		1							
	ビジネスイングリッシュ	3 前		1				1			
	環境フィールドスタディIII	3 前		1		4	2	4			
	持続可能な社会と政策	4 前		2		1					
	卒業論文	3~4 通		6		7	4	5			
小計(12科目)		—	4	15	0	7	4	5	0	0	
専門小計(80科目)		—	49	97	0	7	4	5	0	0	
合計(121科目)		—	66	146	0	7	4	5	0	0	

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。  
修正してください。

(2) 授業科目数

(環境科学科 環境と社会コース)

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 41	科目 80	科目 0	科目 121	科目 41 [ 0 ]	科目 80 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 121 [ 0 ]	

(3) 未開講科目

(環境科学科 環境と社会コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

(環境科学科 環境と社会コース)

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(環境科学科 環境と社会コース)

該当なし
------

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(環境科学科 環境と社会コース)

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{0} = 0$$

- (注) 1 「(1) 授業科目表」は、設置届出書の様式第2号(その2)に準じて作成してください。
- 2 「(2) 授業科目数」は、未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)
- 3 「(3) 未開講科目」は、届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 4 「(4) 廃止科目」は、届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 5 「(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」欄には、授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- 6 「(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	74,824.55 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	74,824.55 m <sup>2</sup>				
	運動場用地	4,196.29 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	4,196.29 m <sup>2</sup>				
	小 計	79,020.84 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	79,020.84 m <sup>2</sup>				
	そ の 他	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>				
	合 計	79,020.84 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	79,020.84 m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	57,976.57 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>	57,976.57 m <sup>2</sup>				
	(57,976.57 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	( 0 m <sup>2</sup> )	(57,976.57 m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	29室	演 習 室	17室	実験実習室	29室	※語学学習施設は、情報処理学習施設を兼ねた施設である。		
					情報処理学習施設	4室 (補助職員 5人)		語学学習施設	3室 (補助職員 0人)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			室		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	※完成年度予定数値と平成22年5月1日現在の数値を誤って記載していたため修正した。(23)	
	生命・環境科学部	35,582 [10,650] (36,126 [10,656])	320 [36] (320 [36])	386 [95] (411 [120])	568 440 (571)	5,961 (5,961)	1,626 (1,626)		
	計	35,582 [10,650] (36,126 [10,656])	320 [36] (320 [36])	386 [95] (411 [120])	568 440 (571)	5,961 (5,961)	1,626 (1,626)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	m <sup>2</sup>								
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	m <sup>2</sup>								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 図書購入費には、電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む。)を含む。
		教員1人当り研究費等	1,100千円	1,100千円	図書購入費	23,108千円	23,108千円	26,008千円	
	共同研究費等	92,947千円	101,565千円	設備購入費	22,000千円	22,000千円	88,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	生命・環境科学部	1,700千円	1,350千円	1,350千円	1,350千円	—千円	—千円		
	臨床検査技術学科	—	—	—	—	—	—		
	食品生命科学科	1,700千円	1,350千円	1,350千円	1,350千円	—千円	—千円		
	食の安全コース バイオの科学コース	—	—	—	—	—	—		
環境科学科	1,350千円	1,350千円	1,350千円	1,350千円	—千円	—千円			
環境技術コース	—	—	—	—	—	—			
環境と社会コース	1,350千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	—	—			
学生納付金以外の維持方法の概要			国庫補助金及び地方公共団体補助金によって運営する						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	麻布大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
獣医学部									
獣医学科	6	120	—	720	学士 (獣医学)	1.22(23) 1.22(22) 1.22(21)	昭和25年度	神奈川県相模原市 中央区淵野辺一丁 目17番71号	麻布大学獣医学部 動物応用科学科に ついては、平成19 年4月から入学定 員を120人に変 更。
動物応用科学科	4	120	—	480	学士 (動物応用科学)	1.19(23) 1.19(22) 1.19(21)	平成6年度		
環境保健学部									
健康環境科学科	4	—	—	—	学士 (保健衛生学)	—	平成10年度		平成20年度より学 生募集停止
衛生技術学科	4	—	—	—	学士 (保健衛生学)	—	昭和53年度		平成20年度より学 生募集停止
環境政策学科	4	—	—	—	学士 (環境政策)	—	平成11年度		平成20年度より学 生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 届出書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 5 教員組織の状況

<生命・環境科学部 臨床検査技術学科>

### (1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	フリガナ 氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	イワハシ カズヒコ 岩橋 和彦 (47)	平成20年4月	医学英語 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅰ 臨床生理学Ⅰ 臨床生理学Ⅱ(画像診断学) 臨床生理学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 精神医学概論 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						
専	教授 (研究科長)	フクヤマ マサフミ 福山 正文 (56)	平成20年4月	医学英語 微生物学総論 実験機器論・同実習 微生物学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅰ 臨床微生物学Ⅰ 臨床微生物学Ⅱ 臨床微生物学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文		教授 (学部長)				研究科長任期満了・学部長 就任(20)
専	教授	ヤマモト シズオ 山本 静雄 (58)	平成20年4月	医学英語 実験機器論・同実習 免疫学Ⅰ 免疫学Ⅱ 免疫学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅰ 臨床免疫学 臨床免疫学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 輸血・移植免疫検査学・同実習 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文		教授 (研究科長)				研究科長任期満了(21) 研究科長就任(20)
専	教授	ホンダ マサユキ 本田 政幸 (60)	平成20年4月	医学英語 衛生・公衆衛生学Ⅰ 衛生・公衆衛生学Ⅱ 衛生・公衆衛生学実習<集中> 臨床検査総論Ⅰ 検査管理総論 臨床検査総論Ⅱ 臨床検査総論実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ヤマモト イサム 山本 勇 (57)	平成20年4月	医学英語 内科学概論Ⅰ (呼吸器・循環器・免疫) 内科学概論Ⅱ (消化器・内分泌・神経) 臨床血液学Ⅰ 臨床血液学Ⅱ 臨床血液学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						
専	准教授	ヨシハラ エイジ 吉原 英児 (52)	平成20年4月	医学英語 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 実験機器論・同実習 生理学実習<集中> 臨床生理学Ⅰ 臨床生理学Ⅱ(画像診断学) 臨床生理学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						
専	准教授	ヒグチ マサシ 樋口 正 (60)	平成20年4月	医学英語 実験機器論・同実習 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅰ 臨床化学Ⅱ 臨床化学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						
専	准教授	キシカワ セイゴウ 岸川 正剛 (61)	平成20年4月	医学英語 実験機器論・同実習 病理学Ⅰ 病理学Ⅱ 病理学実習<集中> 病理組織細胞学 総合臨床検査学Ⅰ 病理組織細胞学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文		教授				昇格(20)
専	准教授	フルハタ カツノリ 古畑 勝則 (48)	平成20年4月	医学英語 微生物学実習<集中> 臨床微生物学Ⅱ 臨床微生物学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						

届出時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	ホンダ テルコ 本田 晃子 (44)	平成20年4月	医学英語 臨床血液学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文					組織学・同実習 医学英語 臨床血液学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文	平成20年4月 当初担当予定者(兼任)の 就任辞退 平成20年度より担当科目の 追加(20)
専	講師	サンダ アキヒロ 三田 明弘 (56)	平成20年4月	基礎化学 医学英語 有機化学 実験機器論・同実習 生化学実習<集中> 臨床化学Ⅰ 総合臨床検査学Ⅰ RI検査技術学・同実習 臨床化学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文		准教授				昇格(21)
専	講師	オギハラ キクミ 荻原 喜久美 (50)	平成20年4月	医学英語 病理学Ⅰ 病理学実習<集中> 病理組織細胞学 病理組織細胞学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						
専	講師	クリバヤシ タカシ 栗林 尚志 (45)	平成20年4月	医学英語 免疫学実習<集中> 臨床免疫学実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 輸血・移植免疫検査学・同実習 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						
専	講師	カクノ ヨウイチ 角野 洋一 (52)	平成20年4月	医学英語 実験機器論・同実習 衛生・公衆衛生学Ⅰ 衛生・公衆衛生学Ⅱ 衛生・公衆衛生学実習<集中> 臨床検査総論Ⅰ 検査管理総論 総合臨床検査学Ⅰ 臨床検査総論Ⅱ 臨床検査総論実習<集中> 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						
専	講師	タカダ カヨコ 高田 香世子 (50)	平成20年4月	医学英語 総合臨床検査学Ⅰ 総合臨床検査学Ⅱ 総合臨床検査学Ⅲ 総合臨床検査学Ⅳ 総合臨床検査学Ⅴ 卒業論文						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	助教	オオナカ ケンジ 大仲 賢二 (40)	平成20年4月	微生物学実習<集中> 臨床微生物学実習<集中> 卒業論文		講師				昇格(22)
兼任	教授	パトリック コリンズ Patrick Collins (55)	平成20年4月	現代経済学						
兼任	教授	サマタ テツロウ 佐保 哲郎 (60)	平成20年4月	実験機器論・同実習						
兼任	教授 (学部長)	ソノキ シゲノリ 其木 茂則 (60)	平成20年4月	分析化学		教授				学部長任期満了(20)
兼任	教授	スズキ ジュン 鈴木 潤 (60)	平成20年4月	実験機器論・同実習						
兼任	教授	ドウガサキ チカク 堂ヶ崎 知格 (60)	平成20年4月	健康食品学						
兼任	教授	アサリ マサオ 浅利 昌男 (56)	平成20年4月	解剖学・同実習	兼任	講師	マツオ マサト 松尾 雅斗 (53)	平成23年4月	解剖学・同実習	平成23年3月 本務校退職に伴う遠方への 転居のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
					兼任	講師	マエダ ミツヨ 前田 光代 (60)	平成22年4月	解剖学・同実習	平成22年3月 研究室教員が海外出張の ため、指導教員が少なくな ること及び獣医学部長就任 のため 平成22年度より担当者の 変更(22)
兼任	教授	マツダ モトオ 松田 基夫 (60)	平成22年4月	遺伝子検査学 遺伝子検査学実習<集中>		教授 (研究科長)				研究科長就任(22)
兼任	准教授	イチハラ ノブツネ 市原 伸恒 (40)	平成20年4月	組織学・同実習	専任	准教授	ホンダ テルコ 本田 晃子 (45)	平成20年4月	組織学・同実習	平成20年3月 当初担当予定者が 海外出張のため就任辞退 平成20年度より担当者の 変更(20)
兼任	准教授	カワカミ ヤスシ 川上 泰 (45)	平成21年4月	医動物学・同実習						

届出時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	ムラヤマ オホシ 村山 洋 (49)	平成22年4月	遺伝子検査学 遺伝子検査学実習<集中>						
兼任	講師	ハラダ アキラ 原田 公 (51)	平成20年4月	基礎科学英語						
兼任	講師	オギハラ トシヒコ 荻原 利彦 (55)	平成20年4月	コンピュータ実習						
兼任	講師	モリクボ トシミチ 森久保 俊満 (39)	平成20年4月	生命倫理学	兼任	講師	オカベ カズオキ 岡部 一興 (67)	平成21年4月	生命倫理学	平成21年3月 健康上の理由のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	サトウ ツトム 佐藤 務 (50)	平成20年4月	日本国憲法 労働基準法	兼任	講師	ムラヤマ フミヨ 村山 史世 (42)	平成21年4月	日本国憲法	平成21年4月 「日本国憲法」は、兼任教員 から兼任教員が担当すること になったため(21)
					兼任	講師	サトウ ツトム 佐藤 務 (51)	平成20年4月	労働基準法	
兼任	講師	カモイ コウイチ 鴨井 光一 (64)	平成20年4月	応用数学 基礎統計学	兼任	講師	オダクラ マサクニ 小田倉 正園 (66)	平成20年4月	応用数学 基礎統計学	平成20年3月 当初担当予定者の 就任辞退 平成20年度より担当者の 変更(20)
兼任	講師	スズキ タクヒロ 鈴木 武人 (30)	平成20年4月	基礎生物学	兼任	講師	サカモト ヨシマサ 坂本 吉正 (52)	平成21年4月	基礎生物学	平成21年3月 本務校決定のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	オオバ イツペイ 大庭 一平 (68)	平成20年4月	医療体育	兼任	講師	サトウ シンイチロウ 佐藤 伸一郎 (45)	平成22年4月	医療体育	平成22年3月 健康上の理由のため 平成22年度より担当者の 変更(22)
兼任	講師	ノグチ ヤスコ 野口 泰子 (35)	平成20年4月	医療体育 生涯体育						
兼任	講師	ササモト シグコ 笹本 重子 (54)	平成20年4月	医療体育						
兼任	講師	ヤマモト ツトム 山本 勉 (42)	平成20年4月	医療体育 生涯体育						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	アビコ アツシ 安彦 篤 (28)	平成20年4月	医療体育						
兼任	講師	マルヤマ カナコ 丸山 香名子 (37)	平成20年4月	基礎英語 英語講読 I 基礎科学英語	兼任	講師	シトリ コウタロウ 委文 光太郎 (38)	平成22年4月	基礎科学英語	平成22年4月 「基礎科学英語」は兼任 教員から兼任教員が担当 することになったため(22)
					兼任	講師	マルヤマ カナコ 丸山 香名子 (40)	平成20年4月	基礎英語 英語講読 I	
兼任	講師	タラ ミユキ 多羅 深雪 (59)	平成20年4月	基礎英語 英語講読 I	兼任	講師	フルマキ ヒサノリ 古牧 久典 (36)	平成23年4月	基礎英語 英語講読 I	平成23年3月 本務校決定のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
					兼任	講師	ドイマサコキ 土井 雅之 (32)	平成21年4月	基礎英語 英語講読 I	平成21年3月 健康上の理由のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	アベ ヨシコ 阿部 芳子 (36)	平成20年4月	基礎英語 英語講読 I						
兼任	講師	ヤマモト アツコ 山本 厚子 (54)	平成20年4月	基礎科学英語	兼任	准教授	イシイ ヤスオ 石井 康夫 (47)	平成22年4月	基礎科学英語	平成22年3月 兼任教員から兼任教員が 担当することになったため (22)
兼任	講師	ホンダ マサヤ 本田 雅也 (43)	平成20年4月	ドイツ語 I						
兼任	講師	テラオ イヅミ 寺尾 いづみ (48)	平成20年4月	フランス語 I						
兼任	講師	オダクラ マサクニ 小田倉 正國 (65)	平成20年4月	実験機器論・同実習					実験機器論・同実習 応用数学 基礎統計学	平成20年3月 当初担当予定者の 就任辞退 平成20年度より担当科目 の追加(20)
兼任	講師	カキハラ ナオコ 柿原 奈央子 (28)	平成20年4月	介護学						
兼任	講師	イノマタ カツコ 猪又 克子 (45)	平成20年4月	看護学概論	兼任	講師	ヨシダ ナオコ 吉田 直子 (44)	平成23年4月	看護学概論	平成23年3月 一身上の都合 平成23年度より担当者の 変更(23)
					兼任	講師	ネオモリ タケコ 夫森 武子 (74)	平成22年4月	看護学概論	平成22年3月 本務先の都合のため 平成22年度より担当者の 変更(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	サクライ マサル 櫻井 勝 (43)	平成20年4月	救急処置論						
兼任	講師	タカハシ アキヒト 高橋 彰仁 (26)	平成20年4月	情報科学概論 EUC概論	兼任	講師	サトウ コウイチ 佐藤 幸一 (63)	平成23年4月	情報科学概論 EUC概論	平成23年3月 本務先決定のため 平成23年度より担当者の 変更(23)
兼任	講師	モリ カズヒデ 森 和英 (53)	平成20年4月	コンピュータ実習	兼任	講師	サカイ スケナオ 酒井 佐直 (45)	平成21年4月	コンピュータ実習	平成21年3月 死亡のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	ゴジュウキ シュウイチ 五十木 秀一 (33)	平成20年4月	コンピュータ実習						
兼任	講師	ミシマ キヨシ 美島 清 (64)	平成20年4月	電子工学概論						
兼任	講師	カワカヅ ヒロコ 川勝 寛子 (41)	平成21年4月	生理学実習<集中>						
兼任	講師	テランマ シゲル 寺島 茂 (52)	平成21年4月	生理学実習<集中> 臨床生理学実習<集中>						
兼任	講師	シバタ テツイチ 柴田 徹一 (69)	平成21年4月	薬理学	兼任	講師	タカハシ カズヒコ 高橋 和彦 (59)	平成23年4月	薬理学	平成23年3月 一身上の都合 平成23年度より担当者の 変更(23)
兼任	講師	ストウ ヤスノウ 周藤 安造 (68)	平成21年4月	医用工学概論						
兼任	講師	ヨコスカ ミノル 横須賀 稔 (67)	平成22年4月	臨床病理学 I						
兼任	講師	ワタナベ マサオ 渡辺 全朗 (43)	平成22年4月	臨床生理学実習<集中>						
兼任	講師	アサカワ ミツオ 浅川 光夫 (57)	平成23年4月	労働生理学 I 労働生理学 II						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ハヤマ ヤスオ 葉山 泰雄 (39)	平成23年4月	労働安全衛生法 I 労働安全衛生法 II						
兼任	講師	カツマタ マサオ 勝又 聖夫 (54)	平成23年4月	労働衛生 I 労働衛生 II						
兼任	講師	オオタニ シンイチ 大谷 慎一 (42)	平成23年4月	臨床病理学 II						
兼任	講師	ヤマグチ セイジ 山口 清次 (57)	平成23年4月	小児科学概論						
兼任	講師	イワブチ サトシ 岩淵 聡 (48)	平成23年4月	脳神経科学概論						
兼任	講師	イワザキ カツヒコ 岩崎 克彦 (63)	平成23年4月	産婦人科学概論						

- (注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
  - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
  - ・年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
  - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

(臨床検査技術学科)

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
5	5	5	1	16	0	6	5	5	0	16	0	
(5)	(5)	(5)	(1)	(16)	(0)	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

(臨床検査技術学科)

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			該当なし
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(臨床検査技術学科)

該当なし
------

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<生命・環境科学部 食品生命科学科>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ウチダ アキヒロ 内田 明彦 (61)	平成20年4月	基礎生物学・同実習 ブレ専門ゼミ 寄生虫学・同実習 実験動物学・同実習 人獣共通寄生虫学 新興再興感染症学 論文講読ゼミ 卒業論文 検疫論 食の科学英語 糖鎖生物学						
専	教授	ドウガサキ チカク 堂々崎 知格 (60)	平成20年4月	ブレ専門ゼミ 食中毒化学 食品衛生学実習<集中> 食品機能学 論文講読ゼミ 健康食品学 卒業論文 食の科学英語 食品衛生分析学					病気と予防 ブレ専門ゼミ 食中毒化学 食品衛生学実習<集中> 食品機能学 論文講読ゼミ 健康食品学 卒業論文 食の科学英語 食品衛生分析学	平成23年4月 内容の充実を図るため 担当科目の追加(23)
専	教授	スズキ ジュン 鈴木 潤 (60)	平成20年4月	ブレ専門ゼミ 有機化学 分析化学・同実習 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実習<集中> 論文講読ゼミ 卒業論文 病態生化学 食の科学英語					病気と予防 ブレ専門ゼミ 有機化学 分析化学・同実習 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 生化学実習<集中> 論文講読ゼミ 卒業論文 病態生化学 食の科学英語	平成23年4月 内容の充実を図るため 担当科目の追加(23)
専	教授	モリグチ トオル 守口 徹 (49)	平成20年4月	ブレ専門ゼミ 食生活と健康科学 栄養学 栄養学実習<集中> 公衆栄養学 臨床栄養学 論文講読ゼミ 卒業論文 食の科学英語						
専	教授	マツダ モトオ 松田 基夫 (61)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論 ブレ専門ゼミ 基礎遺伝子生物学 遺伝子工学 遺伝子工学実習<集中> 哺乳類遺伝学 遺伝子検査学 遺伝子栄養学 分子栄養学 遺伝子組換え食品科学 論文講読ゼミ 卒業論文 遺伝子生物学 遺伝子生物学実習<集中> 生命の科学英語	兼任	講師	ヤマモト アキヒロ 山本 明廣 (60)	平成23年4月	遺伝子組換え食品科学	平成23年3月 「遺伝子組換え食品科学」 は講義内容の専門性を より高めるために兼任教員 に変更(23)
専	教授	マツダ モトオ 松田 基夫 (61)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論 ブレ専門ゼミ 基礎遺伝子生物学 遺伝子工学 遺伝子工学実習<集中> 哺乳類遺伝学 遺伝子検査学 遺伝子栄養学 分子栄養学 遺伝子組換え食品科学 論文講読ゼミ 卒業論文 遺伝子生物学 遺伝子生物学実習<集中> 生命の科学英語		教授 (研究科長)			フード・バイオビジネス概論 ブレ専門ゼミ 基礎遺伝子生物学 遺伝子工学 遺伝子工学実習<集中> 哺乳類遺伝学 遺伝子検査学 遺伝子栄養学 分子栄養学 論文講読ゼミ 卒業論文 遺伝子生物学 遺伝子生物学実習<集中> 生命の科学英語	研究科長就任(22)

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	サマタ テツロウ 佐保 哲郎 (60)	平成20年4月	ブレ専門ゼミ 基礎細胞生物学 論文講読ゼミ 卒業論文 細胞生物学 細胞生物学実習<集中> タンパク質工学 細胞・発生工学・同実習 生命の科学英語						
専	准教授	カワカミ ヤスシ 川上 泰 (45)	平成20年4月	基礎生物学・同実習 ブレ専門ゼミ 寄生虫学・同実習 実験動物学・同実習 人獣共通寄生虫学 新興再興感染症学 論文講読ゼミ 卒業論文 検疫論 食の科学英語 糖鎖生物学						
専	准教授	サカグチ カズコ 坂口 和子 (60)	平成20年4月	基礎化学 ブレ専門ゼミ 分析化学・同実習 生化学実習<集中> 論文講読ゼミ 食物アレルギー論 卒業論文 酵素高分子化学 食の科学英語						
専	准教授	サトウ ナツコ 佐藤 夏子 (33)	平成20年4月	ブレ専門ゼミ 食環境論 食品学 食品学実習<集中> 論文講読ゼミ 卒業論文 食物資源利用学 食の科学英語 食品加工・保蔵科学						
専	准教授	エンドウ オサム 遠藤 治 (48)	平成20年4月	ブレ専門ゼミ 毒性学 毒性学実習<集中> 論文講読ゼミ 卒業論文 食の科学英語 化学物質毒性評価学 リスク評価・コミュニケーション論					病気と予防 ブレ専門ゼミ 毒性学 毒性学実習<集中> 論文講読ゼミ 卒業論文 食の科学英語 化学物質毒性評価学 リスク評価・コミュニケーション論	平成23年4月 内容の充実を図るため 担当科目の追加(23)
専	准教授	ムラヤマ オホシ 村山 洋 (49)	平成20年4月	ブレ専門ゼミ 遺伝子工学実習<集中> 遺伝子検査学 遺伝子栄養学 分子栄養学 論文講読ゼミ 卒業論文 遺伝子生物学実習<集中> ゲノム情報科学・同演習 生命の科学英語						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	アキヤマ タカヒロ 秋山 孝洋 (45)	平成20年4月	基礎生物学・同実習 ブレ専門ゼミ 生命のしくみ 食品バイオテクノロジー 論文講読ゼミ 卒業論文 細胞生物学実習<集中> 発生学・分子発生学 細胞・発生工学・同実習 生命の科学英語						
専	講師	イシザキ ナオト 石崎 直人 (40)	平成20年4月	ブレ専門ゼミ 食品衛生学総論 食中毒微生物学 食品衛生学実習<集中> 論文講読ゼミ 卒業論文 食の科学英語 食品安全管理学 HACCP論						
兼任	教授	タノウチ コウゾウ 田之内 厚三 (60)	平成20年4月	人間関係論						
兼任	教授	ムラカミ マサル 村上 賢 (46)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論 哺乳類遺伝学						
兼任	教授 (研究科長)	フクヤマ マサフミ 福山 正文 (56)	平成20年4月	微生物学総論 微生物学実習<集中> 病原細菌・ウイルス学・同実習		教授 (学部長)				研究科長任期満了・学部長 就任(20)
兼任	教授	ヤマモト シズオ 山本 静雄 (58)	平成20年4月	免疫学		教授 (研究科長)				研究科長任期満了(21) 研究科長就任(20)
兼任	教授 (学部長)	ソノキ シゲノリ 其木 茂則 (60)	平成20年4月	機器分析化学・同実習		教授				学部長任期満了(20)
兼任	准教授	キンカワ セイゴウ 岸川 正剛 (61)	平成21年4月	病理学 産業動物衛生病理学 (解剖・毒性を含む) 健康食品学		教授				昇格(20)
兼任	准教授	タカダ ナオコ 高田 直子 (60)	平成21年4月	環境衛生学						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	准教授	フルハタ カツリ 古畑 勝則 (48)	平成21年4月	微生物学実習<集中>						
兼担	准教授	モリタ シグミツ 森田 重光 (44)	平成21年4月	放射線衛生化学			後任未定		放射線衛生化学	平成23年4月 論旨退職(23) 左記の科目は、兼担又は兼任 教員のいずれかが担当予定
兼担	准教授	オオキ シゲル 大木 茂 (45)	平成22年4月	食料流通・経済論		教授				昇格(21)
兼担	講師	ハラダ アキラ 原田 公 (51)	平成20年4月	基礎科学英語						
兼担	講師	タカダ カヨコ 高田 香世子 (49)	平成20年4月	病気と予防	兼担	教授	イワハシ カズヒコ 岩橋 和彦 (51)	平成23年4月	病気と予防	平成23年4月 内容の充実を図るため 担当科目の追加(23)
					兼担	教授 (学部長)	フクヤマ マサフミ 福山 正文 (59)	平成23年4月	病気と予防	
					兼担	教授	ヤマモト シズオ 山本 静雄 (61)	平成23年4月	病気と予防	
					兼担	教授	ヤマモト イサム 山本 勇 (60)	平成23年4月	病気と予防	
					兼担	准教授	フルハタ カツリ 古畑 勝則 (51)	平成23年4月	病気と予防	
					兼担	講師	カクノ ヨウイチ 角野 洋一 (55)	平成23年4月	病気と予防	
兼担	講師	ムラヤマ フミヨ 村山 史世 (41)	平成20年4月	日本国憲法						
兼担	講師	クリバヤシ タカシ 栗林 尚志 (45)	平成20年4月	免疫学						
兼担	講師	オギハラ トシヒコ 荻原 利彦 (54)	平成20年4月	コンピュータ概論・同実習						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	カクノ ヨウイチ 角野 洋一 (52)	平成21年4月	予防検査学						
兼任	講師	ヒサマン シン 久松 伸 (46)	平成21年4月	機器分析学・同実習						
兼任	助教	オオナカ ケンジ 大仲 賢二 (40)	平成20年4月	微生物学実習<集中>		講師				昇格(22)
兼任	講師	ミズノ トシキ 水野 利紀 (43)	平成20年4月	基礎英語 英語講義 I	兼任	講師	マツオカ ヒロシ 松岡 浩史 (36)	平成22年4月	基礎英語 英語講義 I	平成22年3月 本務校決定のため 平成22年度より担当者の 変更(22)
					兼任	講師	ワダ シノブ 和田 忍 (32)	平成21年4月	基礎英語 英語講義 I	平成21年3月 担当辞退のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	アベ ヨシコ 阿部 芳子 (36)	平成20年4月	基礎英語 英語講義 I						
兼任	講師	コトウ ユミコ 古東 祐美子 (37)	平成20年4月	基礎英語 英語講義 I	兼任	講師	コトウ ユミコ 古東 祐美子 (40)	平成23年4月	基礎英語	平成23年4月 健康上の問題が解消 されたため 平成23年度から担当者の 変更(23)
					兼任	講師	オノウチダ ユウコ 大内田 優子 (41)	平成22年4月	基礎英語	平成22年3月 健康上の理由のため 「基礎英語」に限り、 平成22年度から担当者の 変更(22)
					兼任	講師	コトウ ユミコ 古東 祐美子 (40)	平成20年4月	英語講義 I	
兼任	講師	タカモト ユウジ 高本 雄治 (55)	平成20年4月	統計学 フード・バイオビジネス概論 基礎物理学	兼任	講師	タカモト ユウジ 高本 雄治 (56)	平成20年4月	統計学 基礎物理学	平成21年3月 本務先の都合のため 「フード・バイオビジネス概 論」に限り、平成21年度から 担当者の変更(21)
					兼任	講師	オクムラ ヤスシ 奥村 康 (61)	平成21年4月	フード・バイオビジネス概論	
兼任	講師	ヤマモト タクミチ 山本 武道 (63)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論						
兼任	講師	サトウ クニヒロ 佐藤 邦裕 (59)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	サノ アンナ 佐野 淳典 (53)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論						
兼任	講師	ヒキジ カズマサ 引地 一昌 (60)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論						
兼任	講師	ミヤザワ タカマロ 宮澤 貴磨呂 (35)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論	兼任	講師	イトウ ヨシオ 伊藤 叔緒 (33)	平成22年4月	フード・バイオビジネス概論	平成22年3月 本務先の都合のため 平成22年度から担当者の 変更(22)
兼任	講師	ナカムラ タミコ 中村 多実子 (52)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論						
兼任	講師	サカモト クニアキ 坂本 国昭 (60)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論	兼任	講師	コダマ ヨシカツ 児玉 義勝 (62)	平成21年4月	フード・バイオビジネス概論	平成21年3月 本務先の都合のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	ゴンドウ タカヨシ 権藤 尊睦 (33)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論						
兼任	講師	タニカワ ツトム 谷川 力 (50)	平成20年4月	フード・バイオビジネス概論						
兼任	講師	タシロ ヤスコ 田代 擁子 (58)	平成20年4月	ドイツ語 I						
兼任	講師	テラオ イヅミ 寺尾 いづみ (48)	平成20年4月	フランス語 I						
兼任	講師	ゴジュウキ シュウイチ 五十木 秀一 (33)	平成20年4月	応用数学 コンピュータ概論・同実習						

専任・兼任・兼任の別	届出時の計画				変更状況				備考	
	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月		担当授業科目名
兼任	講師	オオバ イッペイ 大庭 一平 (68)	平成20年4月	医療体育	兼任	講師	サトウ シンイチロウ 佐藤 伸一郎 (46)	平成22年4月	医療体育	平成22年3月 健康上の理由のため 平成22年度より担当者の 変更(22)
兼任	講師	ノグチ ヤスコ 野口 泰子 (35)	平成20年4月	医療体育 応用体育						
兼任	講師	ササモト シゲコ 笹本 重子 (54)	平成20年4月	医療体育						
兼任	講師	ヤマモト ツトム 山本 勉 (42)	平成20年4月	医療体育 応用体育						
兼任	講師	アビコ アツシ 安彦 篤 (28)	平成20年4月	医療体育						
兼任	講師	モリ カズヒデ 森 和英 (53)	平成20年4月	コンピュータ概論・同実習	兼任	講師	サカイ スケナオ 酒井 佐直 (46)	平成21年4月	コンピュータ概論・同実習	平成21年3月 死亡のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	オチアイ ヒデヒコ 落合 英彦 (64)	平成20年4月	生理・解剖学 生理・解剖学実習<集中>						
兼任	講師	サカグチ タケヒロ 坂口 武洋 (60)	平成21年4月	公衆衛生学 保健疫学						
兼任	講師	シバタ テツイチ 柴田 徹一 (69)	平成21年4月	薬理学	兼任	講師	タカハシ カズヒロ 高橋 和彦 (59)	平成23年4月	薬理学	平成23年3月 一身上の都合 平成23年度より担当者の 変更(23)
兼任	講師	ヤスダ カズオ 安田 和男 (61)	平成21年4月	衛生関係法規						
兼任	講師	ナカムラ タケシ 中村 健 (61)	平成22年4月	スポーツ生理学						
兼任	講師	サトウ ツトム 佐藤 勉 (54)	平成22年4月	分子疫学						

(注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には

平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」, 「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

(食品生命科学科)

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	5	2	0	13	0	6	5	2	0	13	0	
(6)	(5)	(2)	(0)	(13)	(0)	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

(食品生命科学科)

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1			
2			該当なし
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(食品生命科学科)

該当なし
------

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 5 教員組織の状況

<生命・環境科学部 環境科学科>

### (1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ゴトウ スミオ 後藤 純雄 (59)	平成20年4月	基礎ゼミ 環境汚染化学概論 科学技術英語 リスク分析学・同演習 化学物質毒性評価学 化学物質毒性評価学実習<集中> 環境影響評価論 環境衛生学 リサーチローテーションA<集中> 環境計量分析化学演習<集中> 卒業論文						
専	教授	ヒラタ ツヨシ 平田 強 (60)	平成20年4月	基礎ゼミ 環境科学概論 水環境学 科学技術英語 水質衛生学 水質汚染制御学 水処理工学・同実習<集中> リサーチローテーションA<集中> 公害防止管理化学演習<集中> 卒業論文						
専	教授 (学部長)	ソノキ シゲノリ 其木 茂則 (60)	平成20年4月	基礎ゼミ 分析化学実習<集中> 分析化学 科学技術英語 環境植物学 機器分析化学・同実習<集中> 環境計量分析化学 環境計量分析化学実習<集中> 農業化学 遺伝子工学・同実習<集中> 環境修復技術論 リサーチローテーションA<集中> 卒業論文		教授 (学部長)				学部長任期満了(20)
専	教授	クメ ヨシオ 久米 祥夫 (61)	平成20年4月	基礎化学 化学 基礎ゼミ 環境フィールドスタディⅠ<集中> 地球環境科学 環境統計学 環境計量分析化学 環境科学演習 リサーチローテーションB 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ハヤカワ テツオ 早川 哲夫 (58)	平成20年4月	基礎ゼミ 環境科学概論 環境政策概論 環境フィールドスタディⅠ<集中> 環境関連法Ⅰ 衛生行政概論 環境関連法Ⅱ 国際環境政策論 リサーチローテーションB 環境政策演習 環境フィールドスタディⅡ<集中> 持続可能な社会と政策 卒業論文						
専	教授	タノウチ コウゾウ 田之内 厚三 (60)	平成20年4月	心理学概論 人間関係論 基礎ゼミ 環境フィールドスタディⅠ<集中> 環境教育論 環境心理学 リサーチローテーションB 環境政策特別講義 環境政策演習 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文						
専	教授	パトリック コリンズ Patrick Collins (55)	平成20年4月	経済学入門 経済政策 基礎ゼミ 環境フィールドスタディⅠ<集中> 環境経済学 環境経営論 エネルギー環境論 リサーチローテーションB 環境政策演習 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文						
専	教授	オオタ カツシ 太田 勝利 (64)	平成20年4月	基礎ゼミ						平成21年3月 定年退職(20)
兼任	講師	オオタ カツシ 太田 勝利 (64)	平成21年4月	地域環境論 地方自治論						
専	准教授	オオクラ タケヒロ 大倉 健宏 (42)	平成20年4月	社会学概論 基礎ゼミ 社会調査入門 環境フィールドスタディⅠ<集中> 環境社会学 社会調査法 社会調査実習Ⅰ 地域環境調査法 社会調査実習Ⅱ リサーチローテーションB 環境政策演習 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文						

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	准教授	モリタ シグミツ 森田 重光 (44)	平成20年4月	基礎ゼミ 統計学・同演習 分析化学実習<集中> 科学技術英語 放射線衛生化学 環境計量分析化学実習<集中> 水処理工学・同実習<集中> リサーチローテーションA<集中> 毒物劇物化学演習<集中> 卒業論文	兼任	講師	オダクラ マサクニ 小田倉 正樹 (68)	平成23年4月	統計学・同演習	平成23年4月 論旨退職(23) 兼任教員が担当(23)	
										基礎ゼミ 分析化学実習<集中> 科学技術英語 環境計量分析化学実習<集中> 水処理工学・同実習<集中> リサーチローテーションA<集中> 卒業論文	平成23年4月 論旨退職(23) 左記の科目は他に担当教員 がいるため、支障はない。
							後任未定		放射線衛生化学 毒物劇物化学演習<集中>	平成23年4月 論旨退職(23) 左記の科目は、兼任又は兼任 教員のいずれかが担当予定	
専	准教授	タカダ ナオコ 高田 直子 (60)	平成20年4月	基礎ゼミ 環境汚染化学概論 土壌環境学 科学技術英語 環境衛生学・同実習<集中> 化学物質毒性評価学 化学物質毒性評価学実習<集中> 環境衛生学 リサーチローテーションA<集中> 環境計量分析化学演習<集中> 卒業論文							
専	准教授	ホンジョウ トシオ 本庄 利男 (61)	平成20年4月	基礎ゼミ 廃棄物リサイクル論 環境フィールドスタディⅠ<集中> 環境科学演習 企業環境対策論 動物環境政策論 リサーチローテーションB インターンシップ<集中> 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文							
専	講師	ヒサマツ シン 久松 伸 (46)	平成20年4月	基礎ゼミ 分析化学実習<集中> 科学技術英語 環境植物学 機器分析化学・同実習<集中> 環境計量分析化学実習<集中> 化学物質管理学 遺伝子工学・同実習<集中> リサーチローテーションA<集中> 卒業論文							
専	講師	シマダ エイサク 嶋田 英作 (57)	平成20年4月	基礎生物学 生物学 基礎ゼミ 生物学実習<集中> 環境フィールドスタディⅠ<集中> 環境生態学 生物資源環境論 環境科学演習 リサーチローテーションB 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文							

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	ムラヤマ フミヨ 村山 史世 (41)	平成20年4月	暮らしの中の法律 日本国憲法 基礎ゼミ 環境学習指導論・同実習<集中> 民法Ⅰ 環境フィールドスタディⅠ<集中> 環境教育論 民法Ⅱ まちづくり論 市民環境活動論 リサーチローテーションB 環境政策演習 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文						
専	講師	ハラダ アキラ 原田 公 (51)	平成20年4月	TOEIC リーディングⅠA TOEIC リーディングⅠB TOEIC リスニングⅠA TOEIC リスニングⅠB TOEIC リーディングⅡA TOEIC リーディングⅡB TOEIC リーディングⅢA TOEIC リーディングⅢB 新聞英語 基礎ゼミ 環境フィールドスタディⅠ<集中> 環境教育論 環境英語 リサーチローテーションB 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文						
専	講師	ジョナサン リンチ Jonathan Lynch (41)	平成20年4月	TOEIC リスニングⅡA TOEIC リスニングⅡB TOEIC リスニングⅢA TOEIC リスニングⅢB トラベルイングリッシュ 基礎ゼミ 環境フィールドスタディⅠ<集中> TVニューズイングリッシュ ライティング リサーチローテーションB スピーチメイキング ビジネスイングリッシュ 環境フィールドスタディⅡ<集中> 卒業論文						
兼任	教授 (研究科長)	フクヤマ マサフミ 福山 正文 (56)	平成20年4月	微生物学総論 微生物学実習<集中> 微生物検出法・同実習<集中>		教授 (学部長)				研究科長任期満了・学部長 就任(20)
兼任	教授	ウチダ アキヒロ 内田 明彦 (61)	平成20年4月	生物多様性論 衛生動物学・同実習<集中> 感染症学 検疫論						
兼任	教授	スズキ ジュン 鈴木 潤 (60)	平成21年4月	生化学 有機化学						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	オカモト ヤヒスコ 岡本 弥彦 (49)	平成21年4月	環境教育論						
兼任	教授	ドウガサキ チカク 堂ヶ崎 知格 (60)	平成21年4月	食品衛生学 食中毒化学						
兼任	教授	マツダ モトオ 松田 基夫 (60)	平成23年4月	遺伝子組換え食品科学	兼任	講師	ヤマモト アキヒロ 山本 明廣 (60)	平成23年4月	遺伝子組換え食品科学	平成23年3月 「遺伝子組換え食品科学」 は講義内容の専門性を より高めるために兼任教員 に変更(23)
兼任	准教授	コバヤシ ケンゾウ 小林 謙三 (58)	平成20年4月	数学						
兼任	准教授	カワカミ ヤスシ 川上 泰 (45)	平成21年4月	衛生動物学・同実習<集中>						
兼任	准教授	フルハタ カツノリ 古畑 勝則 (48)	平成21年4月	微生物学実習<集中> 微生物検出法・同実習<集中>						
兼任	准教授	イノマタ トモオ 猪股 智夫 (54)	平成21年4月	動物実験学		教授				昇格(21)
兼任	講師	オギハラ トシヒロ 荻原 利彦 (55)	平成20年4月	コンピュータ演習						
兼任	講師	フクイ トモリ 福井 智紀 (35)	平成21年4月	環境教育論						
兼任	講師	イシザキ ナオト 石崎 直人 (40)	平成20年4月	HACCP論						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	助教	オオナカ ケンジ 大仲 賢二 (40)	平成21年4月	微生物学実習<集中> 微生物検出法・同実習<集中>		講師				昇格(22)
兼任	講師	イチカワ タツト 市川 達人 (62)	平成20年4月	環境と倫理 近代思想史						
兼任	講師	モリ カズヒデ 森 和英 (53)	平成20年4月	コンピュータ演習	兼任	講師	サカイ スケナオ 酒井 佐直 (46)	平成21年4月	コンピュータ演習	平成21年3月 死亡のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	ゴジュウキ シュウイチ 五十木 秀一 (33)	平成20年4月	コンピュータ演習 コンピュータ概論						
兼任	講師	ミシマ キヨシ 美島 清 (64)	平成20年4月	物理学						
兼任	講師	イシイ マユミ 石井 真弓 (53)	平成20年4月	TOEIC リーディング I A TOEIC リーディング I B TOEIC リーディング II A TOEIC リーディング II B	兼任	講師	マルヤマ カナコ 丸山 香名子 (40)	平成22年4月	TOEIC リーディング II A TOEIC リーディング II B	平成22年3月 健康上の理由のため 平成22年度より担当者の 変更(22)
					兼任	講師	イシイ マユミ 石井 真弓 (56)	平成20年4月	TOEIC リーディング I A TOEIC リーディング I B	
兼任	講師	マルヤマ カナコ 丸山 香名子 (37)	平成20年4月	TOEIC リーディング I A TOEIC リーディング I B TOEIC リーディング III A TOEIC リーディング III B					TOEIC リーディング II A TOEIC リーディング II B <del>TOEIC リスニング II A</del> TOEIC リーディング I A TOEIC リーディング I B TOEIC リーディング III A TOEIC リーディング III B	平成23年4月 当初担当予定者の 健康上の問題が 解消されたため 平成23年度から担当者の 変更(23)
									TOEIC リーディング II A TOEIC リーディング II B TOEIC リスニング II A TOEIC リーディング I A TOEIC リーディング I B TOEIC リーディング III A TOEIC リーディング III B	平成22年3月 当初担当予定者の 健康上の理由により、 平成22年度より担当 科目の追加(22)
兼任	講師	オオタ リツコ 太田 理津子 (42)	平成20年4月	TOEIC リーディング I A TOEIC リーディング I B						
兼任	講師	イダ エイコ 井田 英子 (58)	平成20年4月	TOEIC リーディング I A TOEIC リーディング I B TOEIC リーディング II A TOEIC リーディング II B アドバンスTOEICリーディング						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ニール ジェイクobs Neil Jacobs (35)	平成20年4月	TOEICリスニング I A TOEICリスニング I B ディベート						
兼任	講師	オオウチダ ユウコ 太内田 優子 (38)	平成20年4月	TOEICリスニング I A TOEICリスニング I B						
兼任	講師	ターレス クロスビー Therese Crosbie (47)	平成20年4月	TOEICリスニング I A TOEICリスニング I B TOEICリスニング II A TOEICリスニング II B アドバンスTOEICリスニング						
兼任	講師	ジュリ トウゲソン Julie Torgeson (46)	平成20年4月	TOEICリスニング I A TOEICリスニング I B TOEICリスニング II A TOEICリスニング II B TOEICリスニング III A TOEICリスニング III B ライティング						
兼任	講師	オオバ イッペイ 大庭 一平 (68)	平成20年4月	基礎体育	兼任	講師	サトウ シンイチロウ 佐藤 伸一郎 (46)	平成22年4月	基礎体育	平成22年3月 健康上の理由のため 平成22年度より担当者の 変更(22)
兼任	講師	ノグチ ヤスコ 野口 泰子 (35)	平成20年4月	基礎体育 応用体育						
兼任	講師	ササモト シンゴ 笹本 重子 (54)	平成20年4月	基礎体育						
兼任	講師	ヤマモト ツトム 山本 勉 (42)	平成20年4月	基礎体育 応用体育						
兼任	講師	アビコ アツシ 安彦 篤 (28)	平成20年4月	基礎体育						
兼任	講師	スギヤマ ヒデオ 杉山 英男 (58)	平成20年4月	大気環境学	兼任	准教授	エンドウ オサム 遠藤 治 (49)	平成20年4月	大気環境学	平成20年3月 当初担当予定者の 就任辞退 平成20年度より担当者の 変更(20)
兼任	講師	コトウ ユミコ 古東 祐美子 (37)	平成21年4月	TOEICリスニング II A TOEICリスニング II B	兼任	講師	コトウ ユミコ 古東 祐美子 (40)	平成23年4月	TOEICリスニング II A	平成23年4月 健康上の問題が解消 されたため 平成23年度から担当者の 変更(23)
					兼任	講師	マルヤマ カチコ 丸山 香名子 (40)	平成22年4月	TOEICリスニング II A	平成22年3月 健康上の理由のため 平成22年度より担当者の 変更(22)
					兼任	講師	コトウ ユミコ 古東 祐美子 (40)	平成21年4月	TOEICリスニング II B	

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	タシロ ヤスコ 田代 擁子 (58)	平成21年4月	ドイツ語 I ドイツ語 II						
兼任	講師	テラオ イヅミ 寺尾 いづみ (48)	平成21年4月	フランス語 I フランス語 II						
兼任	講師	ショウ シュウキク 蔣 秋菊 (50)	平成21年4月	中国語 I 中国語 II						
兼任	講師	キタジマ マサユキ 北島 雅之 (53)	平成21年4月	キャリア形成講座						
兼任	講師	オチアイ ヒデヒロ 落合 英彦 (64)	平成21年4月	生理学						
兼任	講師	イワモト ヌタカ 岩本 泰 (37)	平成21年4月	環境教育論						
兼任	講師	タカハシ マサヒロ 高橋 正弘 (39)	平成21年4月	環境教育論	兼任	講師	フリハタ シンイチ 降旗 信一 (47)	平成21年4月	環境教育論	平成21年3月 本務校決定のため 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	ハギワラ ゴウ 萩原 豪 (36)	平成21年4月	環境教育論						
兼任	講師	アンボ カズヤ 安保 克也 (44)	平成21年4月	行政法 I 行政法 II						
兼任	講師	アサカワ ミツオ 浅川 光夫 (57)	平成21年4月	労働生理学						
兼任	講師	イトウ タケシ 伊藤 武 (68)	平成21年4月	病原微生物学						
兼任	講師	サトウ ツトム 佐藤 務 (50)	平成21年4月	労働基準法						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	タマオキ カツユキ 玉置 克之 (64)	平成21年4月	自然災害科学						
兼任	講師	ヤマダ キヨシ 山田 清 (58)	平成21年4月	まちづくり論 住環境福祉論						
兼任	講師	ノグチ リサコ 野口 理佐子 (43)	平成21年4月	ビオトープ論						
兼任	講師	チバ カズテル 千葉 一輝 (57)	平成21年4月	都市計画論 環境景観論						
兼任	講師	ノムラ タカシ 野村 卓 (39)	平成21年4月	人口・食糧論	兼任	講師	カワカミ トロユキ 川上 豊幸 (42)	平成21年4月	人口・食糧論	平成21年3月 当初担当予定者の 就任辞退 平成21年度より担当者の 変更(21)
兼任	講師	ヤマモト アツコ 山本 厚子 (54)	平成22年4月	TOEIC リーディング IIIA TOEIC リーディング IIIB	兼任	講師	フルマキ ヒサノリ 古牧 久典 (36)	平成23年4月	TOEIC リーディング IIIA TOEIC リーディング IIIB	平成23年3月 家庭の事情のため 平成23年4月より担当者の 変更(23)
兼任	講師	リュウ ユウ スズキ Liew Yu-Suzuki (49)	平成22年4月	TOEIC リスニング IIIA TOEIC リスニング IIIB トラベリングリッシュ ビジネスイングリッシュ						
兼任	講師	スズキ ユウジ 鈴木 勇司 (57)	平成22年4月	公衆衛生学						
兼任	講師	カツマタ マサオ 勝又 聖夫 (54)	平成22年4月	労働衛生学						
兼任	講師	サカグチ タケヒロ 坂口 武洋 (60)	平成22年4月	疫学						
兼任	講師	ヤノ ミツヒコ 矢野 充彦 (67)	平成22年4月	リスクコミュニケーション論						
兼任	講師	ハヤマ ヤスオ 葉山 泰雄 (39)	平成22年4月	労働安全衛生法						

届出時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	フリガナ氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	ナカジマ ダイスケ 中島 大介 (41)	平成22年4月	環境リスク評価論						
兼任	講師	タナカ ノリホ 田中 憲穂 (61)	平成22年4月	衛生管理学						
兼任	講師	コジマ ヨシカズ 小島 善和 (52)	平成22年4月	衛生管理学						
兼任	講師	ヨコタ イサム 横田 勇 (67)	平成22年4月	環境管理論						
兼任	講師	マツモト コウリュウ 松本 好隆 (62)	平成22年4月	環境政治						
兼任	講師	オオサカ ヌタカ 大坂 豊 (61)	平成22年4月	自然保護概論						

(注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

(環境科学科)

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	4	5	0	16	0	7	3	5	0	15	0	
(8)	(4)	(5)	(0)	(17)	(0)	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(3) 専任教員辞任等の理由

(環境科学科)

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	准教授		ハラスメント等、相手方の望まない言動により、学園内の風紀秩序を乱し、学習環境を著しく悪化させたことにより、就業規則に基づき平成23年4月28日付け諭旨退職
2			
3			

(注) ・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(環境科学科)

准教授の諭旨退職についての措置

「大学の所見」

緊急事態につき、止むを得ないが機敏に対応した。具体的には、前期担当授業科目については、学内教員及び兼務教員を委嘱し、代行に充てた。また後任人事については、公募措置を講ずる予定である。

「学生への周知方法」

学生には、学内掲示板を通じて担当者変更の周知を行うこととしている。

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	麻布大学生命・環境科学部 食品生命科学科の入学定員 超過の是正に努めること。	平成22年度入学者数を88人 に抑制の上、平均入学定員超 過率を1.29に是正した。	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (23年1月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <生命・環境科学部>

#### (1) 設置計画変更事項等

(臨床検査技術学科)

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>麻布大学生命・環境科学部臨床検査技術学科設置の趣旨</p> <p>1. (略)</p> <p>2. (略)</p> <p>3. 学科の名称及び学位の名称</p> <p>高い倫理観を有し、チーム医療を実践する一員としてふさわしい高度に教育された臨床検査技師の養成を教育目標の大きな柱として明確に示していくことから、学科の名称を「臨床検査技術学科」とする。学位に付与する専攻分野の名称は、あくまでも臨床検査技師の養成が本学科の教育の第1目標であるが、食の分野におけるHACCPシステムに対応でき、よって、人の健康の維持・増進にも貢献できるスペシャリストの養成にも力を入れていくことから、学士(保健衛生学)とする。</p> <p>なお、学科及び学位の英訳名称は、次のとおりである。 学科：D</p>	<p>届出設置書提出時の英訳名称は、「Department of Clinical Technology」としていたが、名称の国際通用性等を勘案し、平成19年12月(開設前)に「Department of Medical Technology」に変更した。</p>

(食品生命科学科)

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

(環境科学科)

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	変更なし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### ① 実施体制

#### a 委員会の設置状況

※関係規程等を転載又は添付すること

- ・平成17年の教授会決定によりFD委員会を設置（関係規程なし。）

#### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・開催していない。

#### c 委員会の審議事項等

- (1) 大学の理念・目標を紹介する研究集会に関する事。
- (2) 教員の教育技法（学習理論、授業法、講義法、討論法、学習評価法及び教育機器利用法）の改善に関する事。
- (3) 教育制度の理解（学校教育法、大学設置基準、学則、学習規則、単位制度、学習指導制度）に関する事。
- (4) 教育技法評価（学生による授業評価、同僚教員による授業法評価、卒業生による授業評価及び教員の諸活動の定期的評価）に関する事。
- (5) 教員の研究支援に関する事。
- (6) 研究と教育の調和を図る学内組織の構築に関する事。
- (7) 大学教員の倫理規定と社会的責任に関する事。

### ② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。

#### a 実施内容

- ・ 学生による授業評価
- ・ 新規採用者説明会
- ・ 非常勤講師説明会
- ・ FD講演会

#### b 実施方法

- ・ 学生による授業評価

各学期のそれぞれの授業の最終日に、学生に以下の項目について4～5段階で評価してもらい、その結果をレーダーチャートにまとめ、更にこの結果を公開している。

（授業評価項目）

- ・ あなたはこの授業をどの程度欠席しましたか。
- ・ あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか。
- ・ 授業時間以外に予習・復習を過当たりどの位行いましたか。
- ・ あなたの授業態度はどうでしたか。（私語、携帯電話・メールなど）
- ・ あなた自身のこの授業に対する学力到達度に満足していますか。
- ・ シラバスは履修に際して役立ちましたか。
- ・ 授業の進み方はあなたにとって適切でしたか。
- ・ 授業の内容は理解できましたか。
- ・ 最新の情報や研究成果が授業に反映されていましたか。
- ・ この授業に関連する分野について、更に勉強したいと思いますか。
- ・ 授業の開始・終了時間は守られていましたか。
- ・ 教員の授業に対する熱意は感じられましたか。
- ・ 教員のことは聞き取りやすかったですか。
- ・ 板書やOHPなどの提示はどうでしたか。
- ・ 授業中の私語に対して、適切な対応をしましたか。
- ・ 実習の器具機材などは適当でしたか。
- ・ あなたがこの授業を履修した理由は何ですか。
- ・ あなたはこの授業を後輩に履修するように勧めますか。

- ・ 新規採用者説明会  
採用時に、学長から教育職員に対する心構え等を醸成させるために、教育基本法の趣旨を含めた説明会を実施している。
  - ・ 初年次開講科目担当教員のためのFD研修会  
研修で知った新入生の意欲・気質・学力の現状を自らの担当講義の経験とつなげる。  
本学の連携可能な資源や他の教員の実践を知ること、担当講義を実践するためのアイデアをもつ。
  - ・ 教務担当者のためのFD研修会  
入試区分でみた入学生の学力分布についての講演  
学校教育で重視する学力と高等学校の教育課程についての講演  
中期目標・中期計画で求められていることについての講演  
講演内容に対する質疑応答
  - ・ スキルアップのためのFD研修会  
ワークショップ「授業で工夫していること、課題や悩みを可視化し、共有しましょう」  
トークセッション「昔の学生・今の学生」  
ワークショップ「学生の学習意欲を向上させるためにできること」
  - ・ 教職員啓発セミナー  
私立大学を取り巻く諸情勢及び学士課程教育と学位の質保証に係る基本事項等について研鑽し、今後における本学の教育研究の円滑な取り運びに資する目的に、専門家による講演会を開催した。
- c 開催状況（教員の参加状況含む）
- ・ 学生による授業評価は前期終了時及び後期終了時の年2回実施
  - ・ 新規採用者説明会は、新規採用者を発令する都度、随時開催
  - ・ 初年次開講科目担当教員のためのFD研修会を平成22年5月31日に実施し、参加対象者137人に対して40人の出席があった。
  - ・ 教務担当者のためのFD研修会を平成22年7月29日に実施し、参加対象者29人に対して22人の出席があった。
  - ・ スキルアップのためのFD研修会を平成22年9月6日に実施し、参加対象者137人に対して49人の出席があった。
  - ・ 教職員啓発セミナーを平成22年9月30日に実施し、参加対象者90人に対して36人の出席があった。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
- ・ 学生による授業評価結果を各教員にフィードバックを行い、各教員が問題点について自己反省し、必要な改善措置を取るよう努めている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(23) 第3学年を終了した時点における標記の達成状況を評価するに当たり、教養教育の実施方針に掲げるとおり、平成19年度に全学組織として設置された教育推進センターにおける、リメディアル教育及び学習支援機能を活用して、専門基礎教育が円滑に進むためのフォローアップが機能しているものと評価できる。

一方で、昨年度受審した認証評価結果の所見では、近年の退学者及び留年者の増加に歯止めをかける手立てとして、より一層のリメディアル教育及び学習支援機能を強化することが求められていることから、これまでのリメディアル教育の実施状況及びその効果を検証するなど、学生個別指導を行うなどの検討を進める考えである。

さらに、教養科目の配置について、認証評価結果の所見で、理系教育の基礎科目が教養科目の中心となっており、「豊かな人間性と高い倫理観の涵養」といった観点で乏しい科目構成となっているとの指摘を踏まえ、完成年度を迎える平成24年度以降の教育課程編成時に見直す考えである。

専門科目が加わった2年次以降では、より基礎・基本の知識を必要とする状況が生まれ、その結果、大枠としては、おおむね当初のねらいどおりに達成できているものの、一部には、学習不適応な学生が引き続き見受けられた。そのような学生に対しては、教育の質の確保の観点から、当該専門分野に対する学生本人の適性と学習意欲を勘案しながら、きめ細やかな学生指導を行い、必要に応じて学生の進路変更を認める教育指導を実施した。学年進行が進む中で本学部の設置の趣旨に基づき、社会から求められる人材について、質の高い人材として社会に送り出す役割を果たすため、学生教育に対して、きめ細やかな教育指導を実施してきた。この過程の中で、学生自身が描く専門分野に係る進路の方向性に、ミスマッチが生じていることがわかった。このため、学生本人が納得の上で、進路変更が必要となる学生が出てくることは、やむを得ないものと理解しており、今後も、学生に対するきめ細やかな学生指導を行い、専門性の高い技術者育成に務めて行くこととしている。

完成年度を迎える今年度は、このような技術者育成の核となる専門教育科目数がさらに増え、科目構成が完成することから、教育執行内容に問題がないか、その検証を行う絶好の機会ととらえ、今後の適正な教育執行体制の確保に向けて、これまでに引き続いて教育内容の充実に努めることとする。

~~(22) 第2学年を終了した時点における標記の達成状況を評価するに当たり、教養教育の実施方針に掲げるとおり、平成19年度に全学組織として設置された教育推進センターにおける、リメディアル教育及び学習支援機能を活用して、専門基礎教育が円滑に進むためのフォローアップが機能しているものと評価できる。~~

~~一方で、2年次から専門科目が加わったことにより、より基礎・基本の知識を必要とする状況が生まれ、その結果、大枠としては、おおむね当初のねらいどおりに達成できているものの、一部には、学習不適応な学生も見受けられた。そのような学生に対しては、教育の質の確保の観点から、当該専門分野に対する学生本人の適性と学習意欲を勘案しながら、きめ細やかな学生指導を行い、必要に応じて学生の進路変更を認める教育指導を実施した。学年進行が進む中で本学部の設置の趣旨に基づき、社会から求められる人材について、質の高い人材として社会に送り出す役割を果たすため、学生教育に対して、きめ細やかな教育指導を実施することにより、学生自身が描く専門分野に係る進路の方向性に、ミスマッチが生じていることがわかりその結果として、学生本人が納得の上で、進路変更が必要となる学生が出てくることは、やむを得ないものと理解しており、今後も、学生に対するきめ細やかな学生指導を行い、専門性の高い技術者育成に務めてまいりたい。~~

~~今後は、このような技術者育成の核となる専門教育科目数が、従来よりさらに大幅に増える計画となっているため、引き続き、適正な教育執行体制の確保と、教育内容の充実に努めることとする。~~

~~(21) 第1学年を終了した時点における標記の達成状況を評価するに当たり、教養教育の実施方針に掲げるとおり、平成19年度に全学組織として設置された教育推進センターにおける、リメディアル教育及び学習支援機能を活用して、専門基礎教育が円滑に進むためのフォローアップが機能しているものと評価できることから、大枠としては、おおむね当初のねらいどおりに達成できているものと評価している。~~

~~今後は、専門教育が従来より大幅に科目数が増える計画でもあるため、引き続き、適正な教育執行体制の確保と、教育内容の充実に努めることとする。~~

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

(23) 平成23年10月末の予定

~~(22) 平成23年度に公表予定（自己点検・評価結果及び認証評価結果のとりまとめを行うことによるため。）~~

~~(21) 平成23年度に公表予定（自己点検・評価結果及び認証評価結果のとりまとめを行うことによるため。）~~

b 公表方法

(23) 報告書形式（書籍又は電子媒体）

(23) 大学ホームページ上に公表予定

~~(22) 大学ホームページ上に公開予定~~

~~(21) 大学ホームページ上に公開予定~~

③ 認証評価を受ける計画

(23) 平成22年度に評価機関（財団法人 大学基準協会）の評価を受審した。

~~(22) 平成22年度に評価機関（財団法人 大学基準協会）の評価を受審する。~~

~~(21) 平成22年度に評価機関（財団法人 大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中。~~

（注）・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (  有  無 )

b 公表予定時期 ( 平成 23年 7月 1日 )

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク  
(  承諾する  承諾しない )

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス

([http://www.azabu-u.ac.jp/department/life\\_environmental/index.html](http://www.azabu-u.ac.jp/department/life_environmental/index.html))

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : [d-secchi@mext.go.jp](mailto:d-secchi@mext.go.jp)

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。